



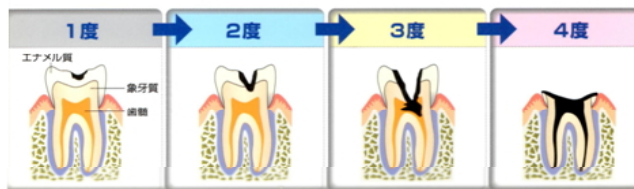
歯医者さんが教える 歯と口腔の健康管理

【第39回】 歯の詰め物について

監修／歯学博士 鹿島 健司

むし歯になってしまったら…治療に際して、むし歯の細菌が歯の神経（歯髄）に達しているか否かが重要な分岐点となります。むし歯菌がエナメル質や象牙質でとどまっている浅いむし歯の場合には（1度・2度）、詰め物による修復が行われます（図1）。詰め物はインレー修復法とレジン修復法の2種類があり、それぞれの適応があります。

図1 むし歯の重症度
（3度では神経の処置を要し、4度になると抜歯の適応になります）



インレー修復法は、むし歯の部分を削りとった後に型取りをして、技工操作によって作製する詰め物です（写真1）。

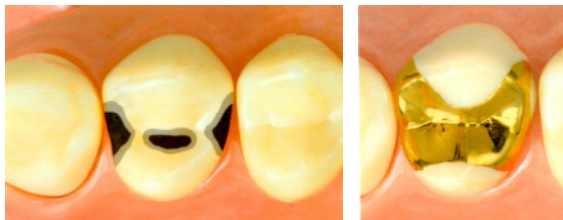
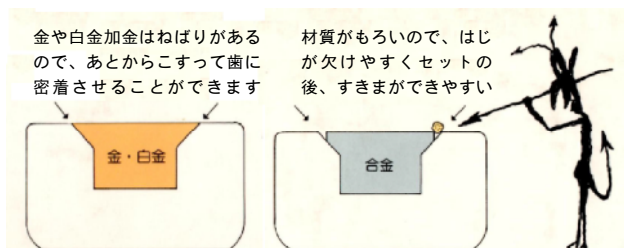


写真1 インレーによるむし歯(左)と金銀パラジウム合金

保険診療の場合は金銀パラジウム合金が使用されます。この合金は金の含有量が12%なので色調は銀色になり、見た目に違和感があります。また、金合金は硬いので、歯との間に隙間が生じて二次的なむし歯になることもあります。さらにイオン化傾向の強い金属も含まれるため、金属イオンが唾液に溶出しやすくなってアレルギーの原因になるといわれています。金や白金で作製されるゴールドインレーは、保険診療の対象外ですが、二次むし歯や、歯や歯

図2 金や白金合金と金銀パラジウム合金の違い



肉の変色、金属アレルギー等が起こりにくく、金銀パラジウム合金のように硬すぎないので噛み合わせもしっかりいきやすくなります（図2）。



写真2 セラミックインレーによる修復 ています（写真2）。

セラミックで作製されるインレーは、ご自身の歯の色調に合わせて作ることができるため、大きく口を開けた時でも目立たずに審美性が保たれるので、昨今、人気を呈しています（写真3）。

レジン修復法は、むし歯の部分を除去した後に、コンポジットレジンという歯科用の樹脂（プラスチック）を詰める方法です。この材料は歯に似た色調をしていて、見た目の違和感が少ないので、主に前歯部の治療に用いられますが、奥歯でも噛む面だけの小さいむし歯や力の掛かりにくい部位に応用されています（写真3）。



写真3 コンポジットレジンによる前歯の修復

原則的に、審美性が求められる前歯部や歯と歯の隣接部を含まないむし歯の処置にはレジン修復が、歯と歯の隣接部にむし歯があったり、奥歯で力がかかる部位ではレジンだと欠けてしまうおそれがあるので金属やセラミックによるインレー修復となります。

昭和50年代まではアマルガムという詰め物（銀と水銀の化合物）が多用されていましたが、辺縁が欠けやすく水銀の含有も問題となって現在では使用されなくなっています。もし、あなたのお口の中にアマルガムを含む不良の詰め物があるようなら、かかりつけ歯科医にご相談なさってください。

監修／鹿島健司（歯学博士）。1958年1月生まれ。かしま歯科医院院長 日本大学歯学部・松戸歯学部兼任講師、川口歯科医師会理事（学術部長）